

推 奨 品 種

だいこん品種「天 宝」

(園試高冷地開発センター)

1. 来歴

平成3年度から「S-23」として試作に移され、平成5年に「天寶」として発表された。

2. 特性の概要

- 1) 「いわて青首」より晩抽性の青首総太り大根である。
- 2) 青首の着色程度は「いわて青首」と同程度ないしやや濃い。
- 3) 肉質は比較的軟らかく、食味は良好である。
- 4) 収穫期は「いわて青首」より2～5日程度遅れる。
- 5) 萎黄病に対して「いわて青首」よりやや強い。

3. 推奨品種に採用する理由

春まき栽培の安定化のため晩抽性品種を検討したところ、推奨品種として採用する「天寶」が「いわて青首」よりも晩抽性で、品質も良好であった。

4. 適応地域

- 1) 適応地域 県北・高冷地
- 2) 適応作型 5月上旬～6月中旬まき

5. 栽培上の留意点

- 1) 萎黄病に対して「いわて青首」より強いが、菌密度の高い圃場では発病するので、前年発生圃場への作付は避ける。
- 2) 「いわて青首」より晩抽性の品種であるが、4月下旬は種では抽台する危険性があるので、適応作型を守る。

6. 試験成績概要

表1 品種特性

品 種	生育	青首着色程度	抽台	裂根	曲根	ス入り	食味
天 宝	やや遅	やや濃い	極晩	少	少	少	良
いわて青首	並	並	晩	少	少	少	極良

表2 収穫時の生育および品質（平成5年）

は種 日 (月.日)	品 種 名	根重 (g)	根長 (cm)	根径 (cm)	根 形	青首長 (cm)	青首 程度	抽台 (%)	T/R 率 (%)	調査 日 (月.日)
4.26 天	宝	809	32	7.3	B	9.1	3.0	95	49.2	7.6
	天 宝 (マルナ)	875	31	7.4	B	8.7	3.0	85	39.8	7.5
	いわて青首	777	32	7.2	B	8.9	3.0	100	77.0	7.6
	いわて青首(マルナ)	851	31	7.3	B	7.9	3.0	100	58.4	7.5
5.10 天	宝	827	33	7.0	B	11.1	3.0	0	43.0	7.9
	いわて青首	888	33	7.0	B	11.4	3.0	90	45.9	7.9
5.25 天	宝	826	33	6.8	B	11.0	3.0	0	55.0	7.24
	いわて青首	860	33	6.9	B	10.9	3.0	10	42.1	7.24
6.10 天	宝	883	32	7.1	B	11.5	3.0	0	44.5	8.9
	いわて青首	907	33	7.2	B	11.1	3.0	0	43.2	8.9

注) 根形: A-長円錐型、B-総太り型、C-長円筒型

青首程度: 1-淡い~5-濃い(いわて青首を3とした)

T/R率: 茎葉重÷根重×100

表3 多発圃場における萎黄病の発病程度（平成5年）

品 種	発病評点	発病株率(%)
天 宝	42.9	65.7
いわて青首	74.0	82.9

注) 発病評点 =
$$\frac{\sum (\text{各指数の個体数} \times \text{重みづけ係数})}{\text{供試個体数}}$$